

備前市施策評価シート

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	土地区画整理	コード 01-01-06	担当課 都市整備課	電話 64-1833
--------------	--------	-----------------	--------------	---------------

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標) 安全で快適に暮らせるまちづくり	中項目(基本施策) 生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	計画区域内の土地所有者の理解を得て、一定地域を総合的に整備し、合理的な土地利用を図る。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	区画整理事業の必要性について、関係者の理解が得られていない。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の土地区画整理事業の計画地としては、昭和49年に都市計画決定を受けた伊部・浦伊部地区の61.1haがありますが、関係者の理解と協力が得られず昭和53年に事業を休止した。その後、平成10年度に現状に合った計画の見直しを行い、関係各位に意見を聞いたが、理解を得ることができず、現在に至っている。活力ある都市社会の実現を図るには、地域経済の発展の核となる新しい都市拠点作りを進めることは必要だが、社会経済情勢の変化に合わせ、再度計画を検証する必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊部・浦伊部地区は、計画決定から30年経過し、土地状況や関係地権者をはじめ社会経済情勢も大きく変化していることから見直しを行う。</li> <li>再度関係者に協力を求め、良好な住環境と利便性に富んだ新市街地形成を図る。</li> <li>適地を選定し、有料住宅地の整備に努める。</li> </ul>	

⑥ 施策構成事務事業の評価 担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ( )はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)			優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費			
1 土地区画整理事業 (0)	D	都市計画一般業務 (社)街づくり区画整理協会会費	0 20			B C

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17 20		
------------------------	-----------	--	--

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
都市整備課	アンケートの実施	区画整理事業に対する理解度を調査し、実現可能かどうか検討する。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	2	目的達成のための事業を展開していない。	1	同左
2 事業構成の妥当性	2	構成事務事業は1つで協会会費のみである。	2	土地区画整理事業一般事務が必要
3 施策の有効性	2	施策は有効であるが、効果的な事業展開が出来ない状況にない。	2	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		区画整理により、土地が有効利用出来ることから、関係者の理解が得られるよう努力する必要がある。		伊部、浦伊部地区の計画の見直しと井田地区の検討が必要

担当部長コメント 地域経済の発展となる新しい都市拠点づくりを進めることは必要であるが、社会経済情勢の変化に合わせて、再度、計画を検証する必要がある。

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
関係者の意識調査	各権利者の理解度	1

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H23	H28		
1 各権利者の理解度	目標	%	100.0			事業賛成者/権利者総数
	実績	%				
	達成率	%	0.0			
参考1	目標					
	実績					
	達成率	%	#DIV/0!			
参考2	目標					
	実績					
	達成率	%	#DIV/0!			
参考3	目標					
	実績					
	達成率	%	#DIV/0!			

市民意識 調査結果	施策名	調査年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%			
	満足している市民の割合	%				